

競技・審判上の注意事項

競技委員長 今泉武志

審判委員長 及川千春

1 確認事項

(1) 応援団人数

チーム関係者であれば、制限はなし。ただし、体調管理・感染対策は、各チームで引き続き行う。

(2) 応援について

○以下のものは、ゲーム運営に支障をきたすため禁止とする。

- ・太鼓やペットボトルなどの鳴り物（メガホンを叩く道具として使っていれば鳴り物と同じ扱い）
- ・特大メガホン
- ・足踏みを揃えてする応援（応援団）

2 試合開始時刻 開場 9:00 第1試合プロトコル 開会式終了後15分

3 コートでの練習について

- ・フロアでの練習は登録されたベンチ役員と選手のみ。
- ・試合間の練習はボールを使用してもよいが、ネットは使用できない。
- ・壁に向けてのボール打ちは禁止する。

4 エントリーの変更について ※帯同審判員の変更も含む

- ・12月22日の受付時に変更があることを告げ、変更用紙に記入し開会式が始まる前までに提出する。
- ・エントリーの変更により登録できる選手は JVA-MRS 個人登録システムに選手登録していること。
- ・監督が途中で不在になった場合、特別な事情がない限り他の者が代理をすることはできない。

1 入館・受付

- 入館者全員が ID カードを携帯し、首から提げること（大会の周知事項を認識しているという証明・不審者対策）
- 持参物→チーム名板（A4・得点板掲示用、各チームが準備し管理する。）
- ・監督やチーム代表者がチーム受付を行う。（受付時にエントリー用紙提出）

2 帯同役員

- ・各チーム帯同役員を決めておくこと

【競技】試合当日、チーム入館時に入場し、コート設営等を手伝う。

【審判】チームが審判の担当の際には、ファーストレフェリー・セカンドレフェリー・スコアラーもしくはスコアラーの補助（ボール拭き等）を行う。試合終了後には役員の手指示により片付け作業を手伝う。

3 補助役員

- ・3チームグループの空きチームが行う。第7試合は3チームグループ各2位チームが補助役員を行う。
- ・各チームはラインジャッジフラッグを用意し補助役員時に使うこと。
- ・補助役員（ラインジャッジ・点示）にあたる際は飲料水（ペットボトル不可）を持参し、セット間等に水分補給を行うこと。

4 服装について

・ベンチ役員は統一されていること。(Tシャツ・短パンは認めない。)

ただし、子どもがベンチスタッフの場合の格好は、他のベンチスタッフと異なってもよい。

- ・監督、コーチ、マネージャー章は必ず左胸に着用する
- ・選手の服装はルールに準ずる

5 試合時の行動

○テクニカルタイムアウトは、11点(3セット目8点)

デュースの際は、両チームが25点(3セット目は21点)になったときに適応。以降は、両チームが7点おきにとる。

○ベンチでのうちわの使用はタイムアウト・テクニカルタイムアウト・セット間のみとする。

- ・選手は試合中、ワイピングタオルをコート内の選手が1名以上持ち、汗等で濡れた床を拭くこと。
- ・テクニカルタイムアウトは健康管理のためのタイムアウトとする。選手はベンチの外側の端に位置する。
ベンチスタッフは給水ができるように準備をする。※給水を行なうか否かの判断は選手本人の意思による。
スタッフが選手に話しかけるときは、ベンチスタッフ自身が規定の位置に移動する。
TTO中はベンチスタッフがモップをかけることができる。(選手は行わない。TOは可能。)

6 会場での行動

- ・公共施設や学校などの御厚意でお借りしている場所であることをわきまえ使用上の注意を十分に守ること。
- ・選手の着替えは各会場で定められた更衣室を使用し、保護者が必ず付き添うこと。
- ・各チームの横断幕の掲出は試合時のみとする。

7 その他

- ・試合が連続する場合もしくは補助役員担当後に試合がある場合には、試合間を最大15分空けることができる。
- ・選手やベンチ役員の飲料水は吸引式のボトルとする。
- ・大会当日については当日の会場責任者の指示に従ってください。
- ・試合の状況により、コートの変更もある。
- ・各チームの横断幕掲載については、会場の競技委員の指示に従うこと。
- ・最終試合チームや補助役員チームは会場の片づけの協力をする。
- ・チーム名板(得点版表記)は各チームで準備・管理し、試合時に記録席に提出する。

当日の駐車場は1チーム2台までとなります。

※駐車券はHPよりダウンロードして、フロントガラスに置いておくこと。

※駐車券があっても、満車の時は入れません。近隣のコインパーキングを利用してください。